

森林官からのおたより

下越森林管理署 村上支署 館腰森林事務所

森林官 鈴木 暁 亜



鮭漁の最盛期を迎える三面川

当森林事務所は、鮭が遡上することので有名な三面川みおもてがわが流れる新潟県北部の村上市（旧朝日村）に位置し、山形県境までの朝日山地一帯約3万3千畝の国有林を管理しています。管内の人工林は1割程度で、スギが大部分を占めています。残り9割は天然林で、11月下旬から5月下旬まで雪で閉ざされるため、ブナを始めとし、トチノキやケヤキ、ミズナラなどの原生的な森林が残されており、朝日連峰と呼ばれるこの



「さけの森林づくり」ボランティアの皆さん

地域一帯には、多様な動植物が息しています。

このような森林生態系を維持・保護・保存することを目的として、平成15年3月に山形・新潟にまたがって全国最大規模となる約7万畝の朝日山地森林生態系保護地域が設定され、ボランティアによる巡視員の方々が保護管理活動を実施しています。

また、管内2万畝の朝日山地内には、山形県の鶴岡市と村上市を結ぶ県道（朝日スーパーライン、総延長52.1キロメートル）が縦断しています。



スーパーラインより朝日山地を望む

毎年7月から11月上旬という短い期間のみ通行可能になっていますが、沿線には三面ダム湖に浮かぶ二子島森林公園や、全国水源の森百選に選ばれたブナの原生林、新潟景勝百選に選ばれた県境の展望箇所などがあり、紅葉の時期などには県内外から多数の行楽客が訪れます。

森林事務所の大きなイベントとしては、平成12年度に、三面川上流の国有林約284ハクを「さけの森林」として、さけの森林づくり推進協議会と協定を締結し、毎年ボランティアと緑の少年団が沢山の鮭が三面川に戻ってくることを願いながらブナの植樹を行っています。

また、旧館腰苗畑跡地においてはブナ等の植樹を行い、平成17年度以降は「ふれあい里山の森」と名付け



「ふれあい里山の森」体験

て、小学生及び一般市民等を対象に炭焼き体験等の森林環境教育を行っています。

森林官として昨年初めて当森林事務所に着任し、地元の方言や現地の把握、更には大量に生息するヤマビルに苦労させられたところです。

今年度は、今後5年間の森林計画を立てるための予備編成の実施期間になっており、図面片手にデジカメを持って、伐採及び更新予定箇所の把握など、通常業務と並行して外業及び内業に頑張っています。

2年目となり業務や私生活にも少しゆとりが出てきたところですが、安心することなく職場の諸先輩のご指導や森林ボランティアの皆さんのご協力を得ながら3年目を迎えたいと考えています。